

雨の日は詩集とお友だち!



ゆめっこだより 6月

2013/6/3 桜小学校

ぼくのあたま

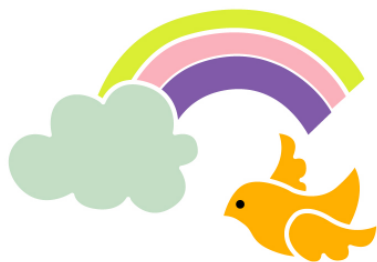
しんかわ かずえ
新川 和江

つむじまがりじゃ ないよ
ちゃんと まんなかについてるよ
ふんすいが
広場の まんなかに あるようにね

クール クール
あたまは いつもさえていて
いい考えが
ふんすいみたいに ほとぼしる

レインボー レインボー
小さな虹がその上に
出ていることも
ときどきあるって ママがいう

つむじまがりじゃ ないよ
すなおな やさしい いい子だよ
ふんすいが
みんなを なぐさめているようにね



朝の読み聞かせ がんばってます!

毎週金曜日の朝、図書委員一人一人が、1年生から4年生までの各教室に入り、紙しばいや大型絵本などの読み聞かせをおこなっています。

「じょうずってほめられた」「おもしろいっていつてくれた」と息せき切ってうれしそうにもどってきます。

クラスの子どもたちもいっしょうけんめいきいてくれていて、お話の世界を楽しんでいるようです。

新しい紙しばいや大型絵本をふやす予定です。どうぞ、お楽しみに!



本のしょうかい

451:「こおり」 前野 紀一 文

こおりはどのようにつくられるのか。こおりは水だけでかたまりとして、ほかのものは仲間に入れないんですって。

では実験。色のインクをとかした水はこおるとどうなるか。インクだけまん中にとりのこされ、水は水だけでこおってしまいます。

それでは、海の水はどうでしょう。北極や南極のこおりはしょっぱいですか? 海の塩分はこおりからおし出されて、重いので海の底にしずんでゆきます。そのはじまりは北極海。さあ、この重い水はどんな旅に出るのでしょうか。こおりからわかることにどんどんひきこまれます。

田んぼに水が満たされ、苗が植えられた光景はなんとすがすがしいことでしょう。こうした光景を見るにつけ、安積疎水にじん力した先人たちの思いをしみじみと感じずにはいられません。

あらたのし

たごと
田毎にうつる

月の影

これは、江戸から明治にかけて、猪苗代湖から水をひくことにほんそうした小林久敬(こばやしひさたか)の句です。どんなにうれしくこの光景を見たことでしょう。

「田毎の月」は、豊かさと美しさをあらわすすてきなことばですね。

安積疎水に関しては、090の分類番号からさがしてみてください。

今月の読書マラソン認定者 おすすめ30冊よみました

6-4 S.M. さん 5/24
4-2 M.A.さん 5/30
3-2 M.H.さん 5/30
3-2 F.V.さん 5/30

図書委員のおすすめを読んで
+1冊券をもらおう!

5冊読んだ人にプラス1冊券を1まいさしあげています。みなさん、チャレンジしてみてくださいね!

